

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(1/3)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III. 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区(岡山県)	準	B 4.2	B 3.9  進捗度 ・企業間連携によるコスト削減 100%  ・国際コンテナ取扱個数 88%  等	B 3.9  規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域ガス融通事業等  地域独自の取組 ・大規模工場立地等立地促進補助制度(設備投資への補助) 等	+0.25	<p>・バーチャル・ワン・カンパニー(※1)の実現は戦略的で先駆性に富み、<u>省資源化の時代の要請に即した案件で高く評価できるが、その戦略が水島コンビナートの持続的発展につながるためには更なる工夫が必要</u>であり、関連企業の集積により新たな付加価値が付き競争力を得た新たな業種・業容の出現による雇用の創出、地域活性化の仕組み作りが望まれる。</p> <p>・比較的無理のない目標値が設定されていたこともあり(※2)、<u>これまでのところ順調に進められている</u>。</p> <p>※1: 水島コンビナート全体を一つの企業とみなし、企業間連携により競争力強化を目的とした操業効率の向上や省エネ・省資源化を図ること。</p> <p>※2: 企業間連携によるコスト削減額の数値目標については、為替と現有価格変動を想定して一定の幅をもって設定(平成24年度は削減額目標1.9~3.2億円に対し、実績2.9億円)。また、水島コンビナートの従業員数は増加ではなく維持を目標とした(主要8社従業員、平成24年度目標11,244人、実績11,250人)。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

\*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。